



# NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップのクローニング SnapCenter software

NetApp  
November 06, 2025

# 目次

NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップのクローニング .....	1
NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップのクローニング .....	1
バックアップからのクローニング .....	1
NetAppがサポートしているプラグインでのリソースのクローニング処理の監視 .....	8

# NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップのクローニング

## NetAppがサポートしているプラグイン リソースのバックアップのクローニング

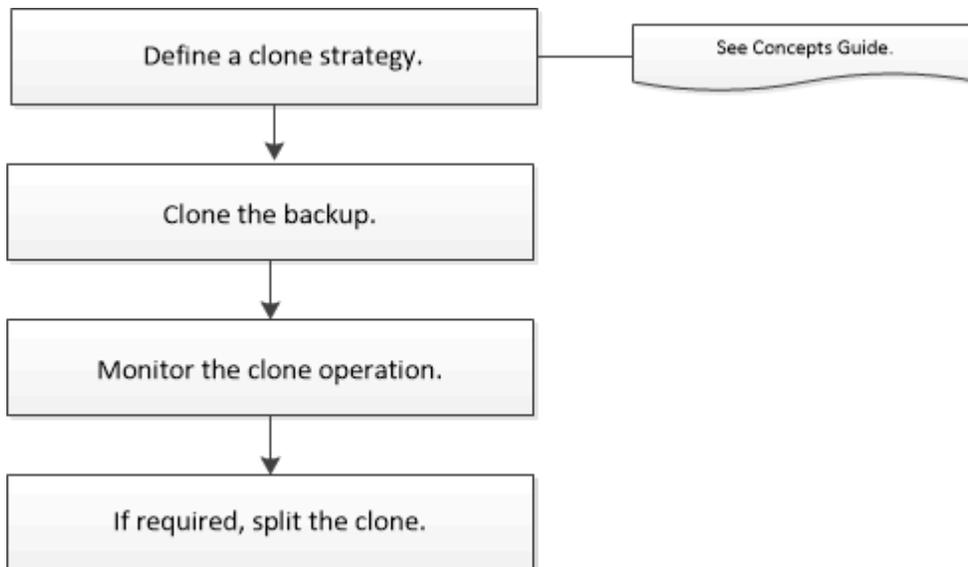
クローニング ワークフローには、クローニング処理の実行と処理の監視が含まれます。

### タスク概要

リソースのバックアップをクローニングする理由には次のものがあります。

- アプリケーション開発のライフサイクルで、実装が必要な機能を、現在のリソースの構造およびコンテンツを使用してテストするため
- データの抽出と操作を行うツールで、データ ウェアハウスにデータを取り込むため
- 誤って削除または変更されたデータをリカバリするため

次のワークフローは、クローニング処理の実行順序を示しています。



PowerShellコマンドレットを手動またはスクリプトで使用して、バックアップ、リストア、クローニングの処理を実行することもできます。PowerShellコマンドレットの詳細については、[SnapCenterコマンドレットのヘルプ](#)を使用するか、"[SnapCenterソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド](#)"。

## バックアップからのクローニング

SnapCenterを使用してバックアップをクローニングすることができます。クローニングはプライマリとセカンダリのどちらのバックアップからも実行できます。クローニング処理の機能は、使用するプラグインによって異なります。

開始する前に

- リソースまたはリソース グループをバックアップしておく必要があります。
- デフォルトのクローニング処理でクローニングされるのは、ストレージ オブジェクトのみです。アプリケーション レベルのクローニング処理は、その機能がNetAppがサポートしているプラグインで提供されている場合にのみ実行できます。
- ボリュームをホストするアグリゲートがStorage Virtual Machine (SVM) の割り当て済みアグリゲート リストに含まれていることを確認します。

#### タスク概要

ONTAP 9.12.1以前のバージョンでは、リストアの一環としてSnapLock Vault Snapshotから作成されたクローンが、SnapLock Vaultの有効期限を継承します。SnapLockの有効期限が過ぎたあと、ストレージ管理者がクローンを手動でクリーンアップする必要があります。

## SnapCenter UI

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインで [リソース] をクリックし、リストから適切なプラグインを選択します。
2. リソース ページで、リソース タイプに基づいて 表示 ドロップダウン リストからリソースをフィルターします。

リソースは、タイプ、ホストまたはクラスタ名、関連するリソース グループとポリシー、ステータスなどの情報とともに表示されます。

3. リソースまたはリソース グループを選択します。

リソース グループを選択した場合はリソースを選択する必要があります。

リソースまたはリソース グループのトポロジ ページが表示されます。

4. [コピーの管理] ビューで、プライマリまたはセカンダリ (ミラーリングまたはボルト化された) ストレージ システムから [バックアップ] を選択します。
5. 表からデータバックアップを選択し、クリックします。  。
6. [Locations] ページで、次の操作を実行します。

フィールド	操作
Clone server	<p>ソース ホストがデフォルトで入力されています。</p> <p>別のホストを指定する場合は、クローンのマウント先の、プラグインがインストールされたホストを選択します。</p>
Clone suffix	<p>クローン デスティネーションがソースと同じ場合は必須です。</p> <p>クローニングされた新しいリソース名に付けるサフィックスを入力します。サフィックスにより、クローニングされたリソースがホストで一意になります。</p> <p>たとえば、rs1_cloneのように指定します。元のリソースと同じホストにクローニングする場合、クローニングされたリソースを元のリソースと区別するためにサフィックスを指定する必要があります。これを行わないと処理は失敗します。</p>

リソースとしてLUNを選択し、セカンダリ バックアップからクローニングする場合、デスティネーション ボリュームのリストが表示されます。1つのソースについて複数のデスティネーション ボリュームを選択することができます。

7. \*設定\*ページで、次の操作を実行します。

フィールド	操作
イニシエーター名	ホスト イニシエーター名 (IQDNまたはWWPN)を入力します。
lgroup protocol	[lgroup protocol]を選択します。



[Settings]ページは、ストレージタイプがLUNの場合にのみ表示されます。

8. [Scripts]ページで、クローニング処理の前後に実行するプリコマンドやポストコマンドを入力します。ホストにファイルシステムをマウントするには、mountコマンドを入力します。

例えば：

- クローニング前のコマンド：同じ名前の既存のデータベースの削除
- クローニング後のコマンド：データベースの検証やデータベースの起動

Linux マシン上のボリュームまたは qtree のマウント コマンド：  
mount<VSERVER\_NAME>:%<VOLUME\_NAME\_Clone /mnt>

9. \*通知\*ページの\*電子メール設定\*ドロップダウンリストから、電子メールを送信するシナリオを選択します。

また、送信者と受信者のEメール アドレス、およびEメールの件名を指定する必要があります。

10. 概要を確認し、[完了] をクリックします。

11. モニター > ジョブ をクリックして、操作の進行状況を監視します。

### PowerShellコマンドレット

手順

1. Open-SmConnectionコマンドレットを使用して、指定のユーザでSnapCenter Serverとの接続セッションを開始します。

```
Open-SmConnection -SMSbaseurl  
https:\\snapctr.demo.netapp.com:8146/
```

2. Get-SmBackupコマンドレットまたはGet-SmResourceGroupコマンドレットを使用して、クローニングできるバックアップのリストを表示します。

この例では、使用可能なすべてのバックアップに関する情報を表示しています。

```
C:\PS>PS C:\> Get-SmBackup
```

BackupId	BackupName	BackupTime	BackupType
-----	-----	-----	-----
1	Payroll Dataset_vise-f6_08...	8/4/2015	11:02:32
AM	Full Backup		
2	Payroll Dataset_vise-f6_08...	8/4/2015	11:23:17
AM			

この例では、指定したリソース グループに関する情報を表示しています。

```
PS C:\> Get-SmResourceGroup
```

```
Description :  
CreationTime : 10/10/2016 4:45:53 PM  
ModificationTime : 10/10/2016 4:45:53 PM  
EnableEmail : False  
EmailSMTPServer :  
EmailFrom :  
EmailTo :  
EmailSubject :  
EnableSysLog : False  
ProtectionGroupType : Backup  
EnableAsupOnFailure : False  
Policies : {}  
HostResourceMapping : {}  
Configuration :  
SMCoreContracts.SmCloneConfiguration  
LastBackupStatus : Completed  
VerificationServer :  
EmailBody :  
EmailNotificationPreference : Never  
VerificationServerInfo :  
SchedulerSQLInstance :  
CustomText :  
CustomSnapshotFormat :  
SearchResources : False  
ByPassCredential : False  
IsCustomSnapshot :  
MaintenanceStatus : Production  
PluginProtectionGroupTypes : {SMSQL}  
Tag :
```

```

IsInternal                : False
EnableEmailAttachment    : False
VerificationSettings     : {}
Name                     : NFS_DB
Type                     : Group
Id                       : 2
Host                     :
UserName                 :
Passphrase               :
Deleted                  : False
Auth                     : SMCoreContracts.SmAuth
IsClone                  : False
CloneLevel               : 0
Hosts                    :
StorageName              :
ResourceGroupNames      :
PolicyNames              :

Description               :
CreationTime              : 10/10/2016 4:51:36 PM
ModificationTime         : 10/10/2016 5:27:57 PM
EnableEmail              : False
EmailSMTPServer          :
EmailFrom                 :
EmailTo                  :
EmailSubject             :
EnableSysLog             : False
ProtectionGroupType      : Backup
EnableAsupOnFailure      : False
Policies                  : {}
HostResourceMapping      : {}
Configuration            :
SMCoreContracts.SmCloneConfiguration
LastBackupStatus         : Failed
VerificationServer       :
EmailBody                 :
EmailNotificationPreference : Never
VerificationServerInfo   :
SchedulerSQLInstance     :
CustomText                :
CustomSnapshotFormat     :
SearchResources          : False
ByPassRunAs              : False
IsCustomSnapshot         :
MaintenanceStatus        : Production
PluginProtectionGroupTypes : {SMSQL}

```

```

Tag :
IsInternal : False
EnableEmailAttachment : False
VerificationSettings : {}
Name : Test
Type : Group
Id : 3
Host :
UserName :
Passphrase :
Deleted : False
Auth : SMCoreContracts.SmAuth
IsClone : False
CloneLevel : 0
Hosts :
StorageName :
ResourceGroupNames :
PolicyNames :

```

3. New-SmCloneコマンドレットを使用して、クローン リソース グループまたは既存のバックアップからクローニング処理を開始します。

この例では、指定したバックアップからすべてのログを含めてクローンを作成しています。

```

New-SmClone -BackupName
Verify_delete_clone_on_qtree_windows_scc54_10-04-2016_19.05.48.0886
-Resources @{"Host"="scc54.sscore.test.com";"Uid"="QTREE1"} -
CloneToInstance scc54.sscore.test.com -Suffix '_QtreeCloneWin9'
-AutoAssignMountPoint -AppPluginCode 'DummyPlugin' -initiatorname
'iqn.1991-
05.com.microsoft:scc54.sscore.test.com' -igroupprotocol 'mixed'

```

4. クローニング ジョブのステータスを表示するには、Get-SmCloneReportコマンドレットを使用します。

この例では、指定したジョブIDのクローン レポートを表示しています。

```
PS C:\> Get-SmCloneReport -JobId 186
```

```
SmCloneId           : 1
SmJobId              : 186
StartDateTime        : 8/3/2015 2:43:02 PM
EndDateTime          : 8/3/2015 2:44:08 PM
Duration             : 00:01:06.6760000
Status               : Completed
ProtectionGroupName : Draper
SmProtectionGroupId  : 4
PolicyName           : OnDemand_Clone
SmPolicyId           : 4
BackupPolicyName     : OnDemand_Full_Log
SmBackupPolicyId    : 1
CloneHostName       : SCSPR0054212005.mycompany.com
CloneHostId         : 4
CloneName            : Draper__clone__08-03-2015_14.43.53
SourceResources      : {Don, Betty, Bobby, Sally}
ClonedResources      : {Don_DRAPER, Betty_DRAPER, Bobby_DRAPER,
Sally_DRAPER}
SmJobError           :
```

## NetAppがサポートしているプラグインでのリソースのクローニング処理の監視

SnapCenterのクローニング処理の進捗状況を、[Jobs]ページで監視できます。処理の進捗状況をチェックして、処理が完了するタイミングや問題が発生していないかどうかを確認できます。

### タスク概要

[Jobs]ページでは、次のアイコンで処理の状態が示されます。

-  進行中
-  正常に完了しました
-  失敗した
-  警告付きで完了したか、警告のため開始できませんでした
-  キューに登録
-  キャンセル

### 手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[モニター] をクリックします。
2. \*モニター\* ページで、\*ジョブ\* をクリックします。
3. ジョブ ページで、次の手順を実行します。
  - a. をクリックし  てリストをフィルタリングし、クローニング処理のみを表示します。
  - b. 開始日と終了日を指定します。
  - c. \*タイプ\* ドロップダウンリストから\*クローン\* を選択します。
  - d. \*ステータス\* ドロップダウンリストからクローンのステータスを選択します。
  - e. 正常に完了した操作を表示するには、[適用] をクリックします。
4. クローンジョブを選択し、[詳細] をクリックしてジョブの詳細を表示します。
5. ジョブの詳細ページで、\*ログの表示\* をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。